

「ひろしま里山グッドアワード」の結果報告について

1 要旨・目的

「ひろしま里山グッドアワード」は、中山間地域にあるものを活かして新しい価値の創造につなげている取組を表彰し、地域活動に対するモチベーションの維持を図るとともに、そのプロセスやノウハウを共有することによって、取組の更なる普及促進を図ることを目的に平成30年度から実施している。

令和6年12月7日（土）、令和6年度の「さとやま未来大賞」1件、「未来のたね賞」1件及び「入賞」3件を知事から表彰した。

2 現状・背景

第Ⅱ期広島県中山間地域振興計画に基づき、全ての活力の源泉となる「人づくり」を3つの施策の柱のひとつとして重点的に取り組んでいる。

県内の中山間地域ならではの多様な資源を活かした取組を、地域にもたрасることが期待される効果とともに可視化し、広く周知していくことによって、新たな活動の創出や磨き上げにつなげていく必要がある。

3 概要

(1) 対象

個人、地域住民組織又は企業等が行う、県内の中山間地域ならではの多様な資源を生かして、新しい価値やサービスの創出につなげている取組

(2) 事業内容（実施内容）

次の選考過程を経て、「さとやま未来大賞」、「未来のたね賞」及び「入賞」を決定した。

賞 の 種 類	さとやま未来大賞（1件）、未来のたね賞（1件）、入賞（3件）
応 募 期 間	令和6年6月17日（月）～7月31日（水）
応 募 方 法	専用ホームページの応募フォームによる
一 次 審 査	9月中旬にアドバイザーの意見を参考に、5件を選定（応募総数19件）
ア ド バ イ ザ ー	藻谷 浩介氏（株式会社 日本総合研究所 主席研究員） 新里 カオリ氏（立花テキスタイル研究所 所長） 指出 一正氏（株式会社ソコ・ネットワーク執行役員『ソコ』編集長）
一 般 投 票	令和6年10月15日（火）～11月30日（土） ※ 投票はインターネットによる。投票数は6,526票。
表 彰 式	令和6年12月7日（土） ONOMICHI SHARE（尾道市）で実施（昨年度大賞受賞者の活動実施地域）

【さとやま未来大賞】

取組の名称及び概要	団体名 [主な活動地域]	
<u>お米と田舎を守るコミュニティ作り</u> 地元小学生や県内の大学生に参加してもらう田植えや、県内外から参加者を募集し、収穫祭を組み合わせ実施する稲刈りイベントにより、農業をきっかけに訪れる人やファンを増やし、将来的には就農者の増加を目指す取組	株式会社 とまとはうす コーポレーション [三原市大和町]	

【未来のたね賞】

取組の名称及び概要	団体名 [主な活動地域]	
<u>フルーツで地域にパッション！SMILEを未来へ繋ぐ</u> 幼児から大学生、親子連れや「おてつたび」の参加者など幅広い人々にフルーツ体験や食育、就業体験ができる場づくり、6次産業を通しての魅力発信、人々がつながるイベントの実施により、「農業」を通じて地域の活性化を目指す取組	株式会社 スマイルアグリ [三原市大和町]	

【入賞】

取組の名称及び概要	団体名 [主な活動地域]	
<u>まちを再生する訪問看護</u> 過疎地域の医療介護インフラを持続可能なものとして整備し、健康寿命を延ばすための地域活動や、そのためのサービス、地域の自然資本を活用した新たな産業の創出を図る取組	Nurse and Craft 株式会社 [呉市豊町]	
<u>頑張る人を生み、住む場所を作り、街の再整備を促していく</u> 中心市街地の賑わいづくりを通じた就労対策、草刈りや剪定による生活環境対策、持ち主が活用できなくなった空き家をリフォーム後、賃貸物件として流通させる空き家対策などを継続して行い、地域活性化を目指す取組	Reborn 加計 [安芸太田町]	
<u>ものづくりの町で行うデジタル工房と子ども達と創る出前開発ラボ</u> 子ども達や地域の方にもものづくりに触れてもらうため、デジタルものづくり工房を運営し、地方でも最先端の技術に触れることで中央以上に面白い人材が生まれ続ける仕組みの構築を目指す取組	スリーディーラボ D D D. Labo [府中市]	

(3) スケジュール

6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
← 募集期間 →			● 一次審査	← 一般投票 →		● 表彰式

(4) 予算（単県）

5,068 千円

(5) その他（関連情報等）

ひろしま里山グッドアワード 特設サイト

<https://good-award.jp>

